

教育目標

心豊かで、たくましく生きる力を身につけた児童の育成

めざす学校像

- 児童一人一人がよさを発揮し、意欲的・創造的に活動する学校
- 保護者・地域の信託に応える開かれた学校
- 学ぶ場として整えられた学校

めざす児童像

- ＜やさしく＞
- 自他を大切にし、仲間と協力する児童
- ＜かしこく＞
- よく考え、進んで学習する児童
- ＜たくましく＞
- 健康で、最後までがんばる児童

正しく読み、表現できる児童

めざす教師像

- 子どもを愛し、支える教師
- 教育への使命感をもち、人間性と力量を高める教師
- 責任感と協調性をもち、互いに高め合う教師
- 心身ともに健康で明るく元氣な教師

基本方針

全ての児童が、「おはよう」から「さようなら」まで安心して学べる学校 を創る

重点目標

＜確かな学力＞

- 基礎基本を身につけ、主体的に学ぶ児童を育てる。
- 考える楽しさを味わう児童を育てる。

＜豊かな心＞

- 自分も他者も大切にする態度を育てる。
- 約束事を守り、協力する児童を育てる。

＜たくましい体＞

- 体力づくりに励み、最後までがんばり抜く力を育てる。
- 健康で安全な生活の習慣化を図る。

＜家庭・地域との連携＞

- 保護者・地域とともに歩む学校づくりを推進する。
- 学校運営協議会を軸とした連携を進める。

○児童の主体的・対話的活動、情報端末を活用した学習活動を積極的に授業に取り入れる。

○魅力的な授業づくりに取り組み、児童の学ぶ意欲を高める。

○「教師のスタンダード」（目標の明確化 教師の話す時間は最小限 問いのある授業展開）を意識し、自ら課題を見つけて学ぶ姿勢を育む。

○各教科で日常的な振り返り活動を取り入れる。単元を通した振り返りの累積や他の児童の振り返りを見ることで、振り返りの質を高める。

○個性を尊重する、達成感を味わう、望ましい人間関係を築くことを通して、自尊感情を高める。異学年との凝縮性を高める。

○いじめの芽を生まない環境づくりに努めるとともに、教育活動全体を通じて人権意識・道徳的心情を養い、実践力を培う。

○体験活動・読書活動を充実させ、情豊かな人間性を育てる。

○教育相談、通級指導教室等を生かすとともに低・中・高学年ブロック毎に副担任を配置し、複数で児童を見守る「チーム指導」を推進する。

○体育科授業や体力向上活動の充実を図るとともに、外遊びを奨励し、運動に親しむ態度や習慣を育てる。

○タブレット端末を活用し、こころと体の健康について自ら気づき、健康な生活を送ろうとする意識を高める。

○日常的に安全に対する意識を高め、危険を予知して回避する能力を育てる。

○学校運営協議会、学校支援地域本部との連携を進め、地域の教育資源（人材・学習材）を積極的に活用した教育活動を推進する。

○授業参観・ホームページ等による情報発信を行うとともに、学校評価を踏まえ、教育活動の改善に努める。

○近隣学校間での情報共有と相互理解を進め、連携した教育を推進する。

玉造中学校区「『あたりまえ』三つのめあて」に取り組む。